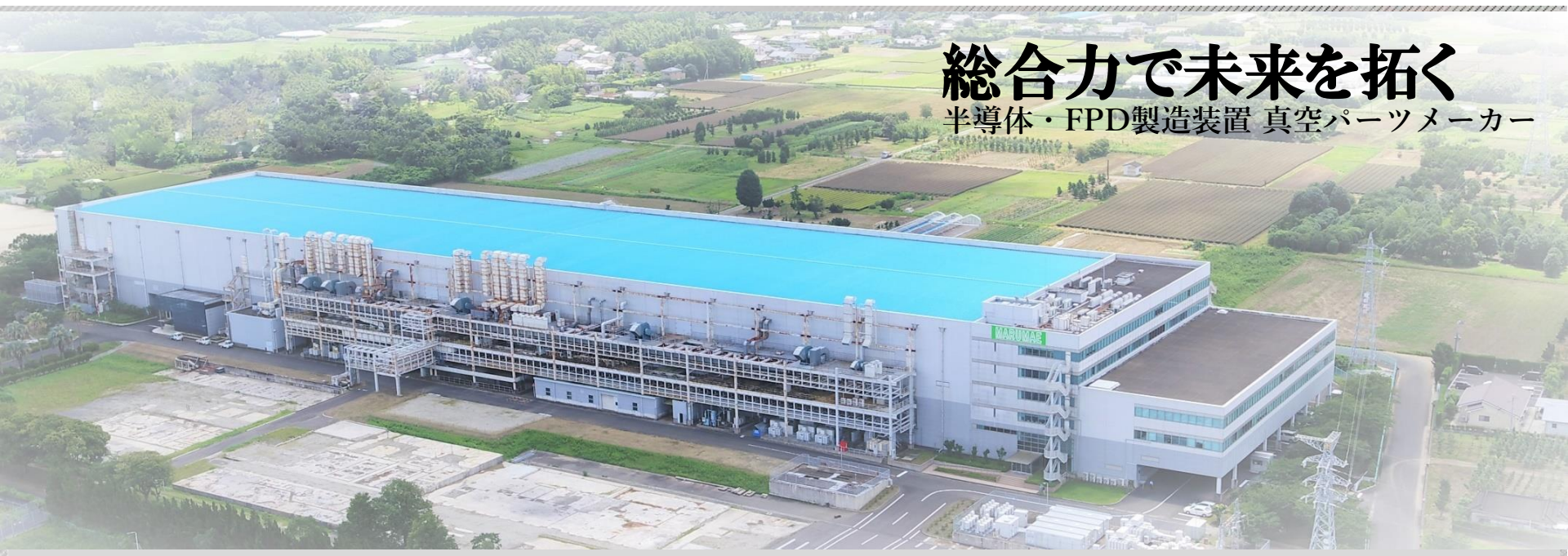


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2023年8月期 第1四半期決算 補足資料

2022年12月28日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2022年8月期 第1四半期累計期間		2023年8月期 第1四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高 ※	2,496	—	1,815	—	△27.3
受注残高 ※	2,411	—	1,987	—	△17.6
売上高	1,938	100.0	2,487	100.0	28.3
売上原価	1,150	59.3	1,585	63.7	37.9
売上総利益	788	40.7	902	36.3	14.5
販売管理費	193	10.0	233	9.4	20.7
営業利益	595	30.7	668	26.9	12.4
経常利益	592	30.6	663	26.7	11.8
特別損益	0	0.0	△2	—	—
当期純利益	422	21.8	467	18.8	10.7
EPS (円)	32.98	—	37.00	—	12.2

※ 受注高及び受注残高には有償受給材分が含まれております。

Point

①受注状況 ※

- 半導体分野：1,307百万円
(対前年同期：30.2%減)
- F P D分野：136百万円
(対前年同期：77.9%減)
- その他分野：371百万円
(前年同期：3百万円)

②売上高

- 対前年同期28.3%の増加
(分野別の詳細は次頁)

③売上原価

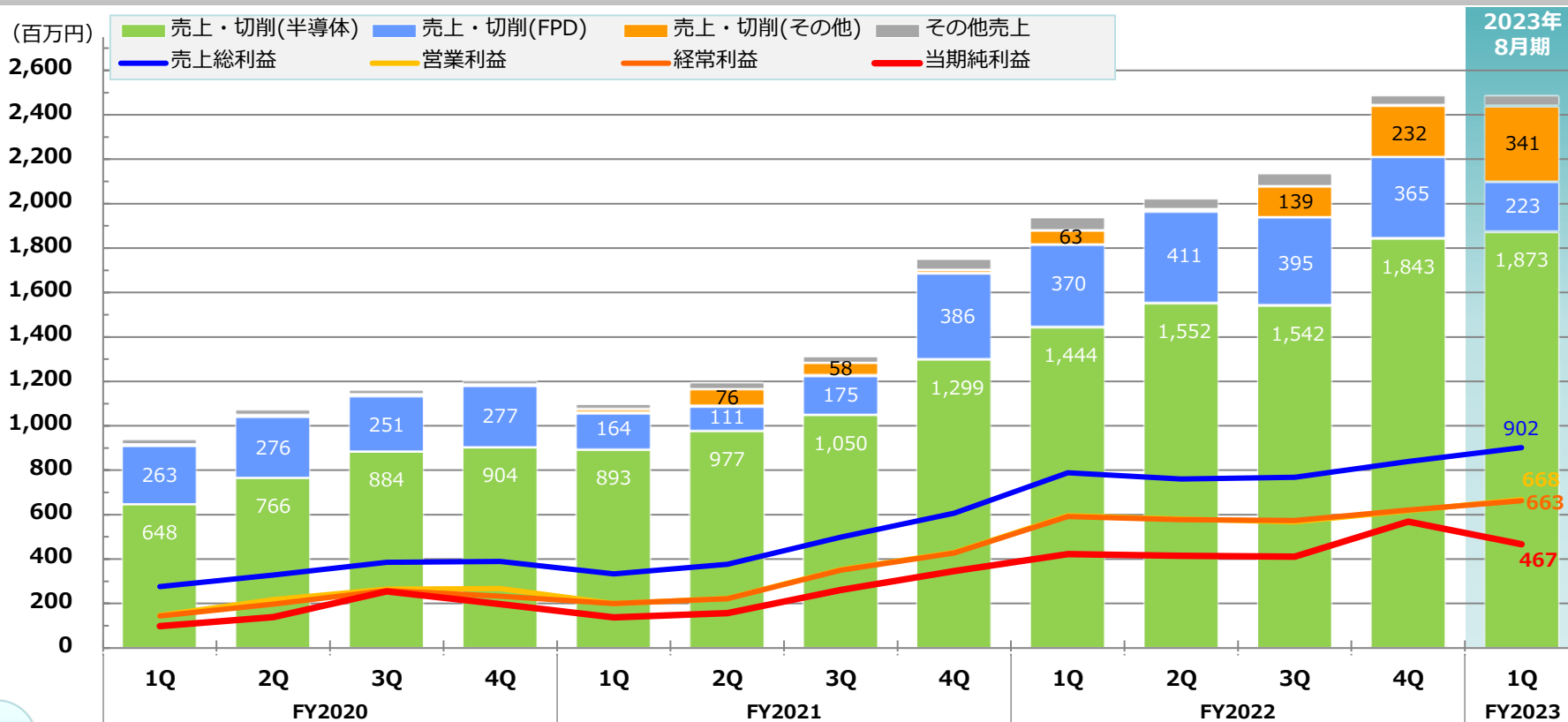
- 材料費：33百万円減少
(対前年同期：△10.0%減)
- 外注加工費：18百万円増加
(対前年同期：5.7%増)
- 労務費：79百万円増加
(対前年同期：23.0%増)
- 減価償却費：66百万円増加
(対前年同期：44.7%増)

④販売管理費

- 販管人件費：18百万円増加
- 支払手数料：5百万円増加

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体好調、太陽電池向けも貢献

- 半導体分野：1,873百万円（対前年同期：29.7%増）
 - ・半導体分野は受注残こなし過去最高水準継続
- FPD分野：223百万円（対前年同期：39.6%減）
 - ・市場停滞による売り上げ減少

■その他分野：341百万円（対前年同期：441.6%増）

- ・太陽電池製造装置部品の出荷検収が本格化

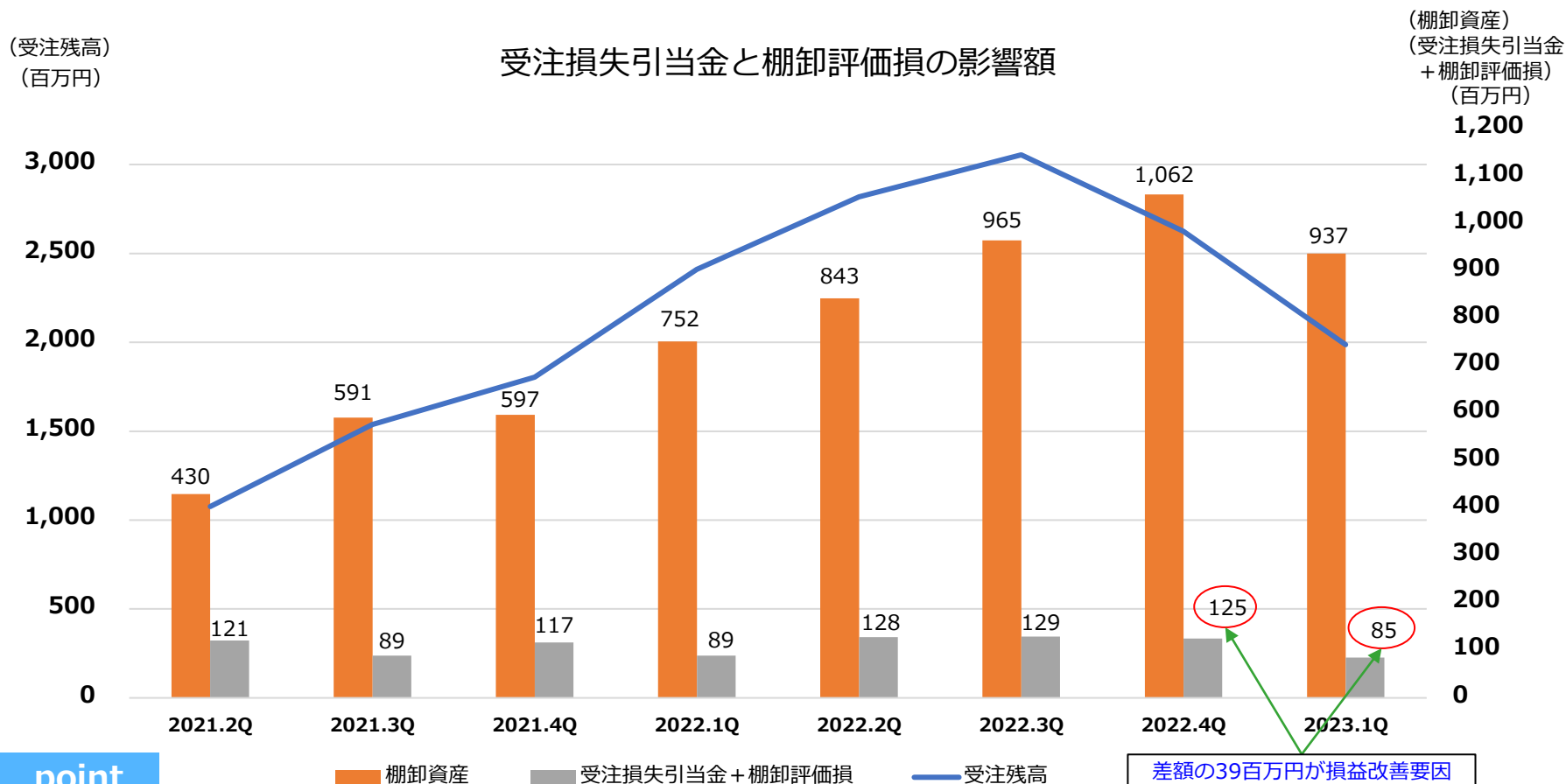
②損益面は製造原価低減で粗利増

- ・受注損失引当金および棚卸資産の評価減で原価低減
- ・当期純利益467百万円（対前年同期：10.7%増）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

受注損失引当金と棚卸評価損等の推移



- ✓ 第1四半期においては、受注損失引当金と棚卸評価損により39百万円が損益改善要因となっております。
- ✓ 受注損失引当金および、棚卸資産評価損は、未検収の受注残に対し、個別の受注案件ごとに過去の実績や追加発生原価の見積りから損失が見込まれるものを抽出して算出します。他案件と損益通算しない事から、受注残増加に伴い増加する可能性が高くなります。また、工場稼働率が低くなると時間当たりの単価が上昇する事から増加しやすくなります。

※受注損失引当金と棚卸評価損に関連する「仕掛品の評価および受注損失引当金の見積り」は、前期の「監査上の主要な検討事項」(KAM)に選定されています。

1. 決算概要

B/S分析

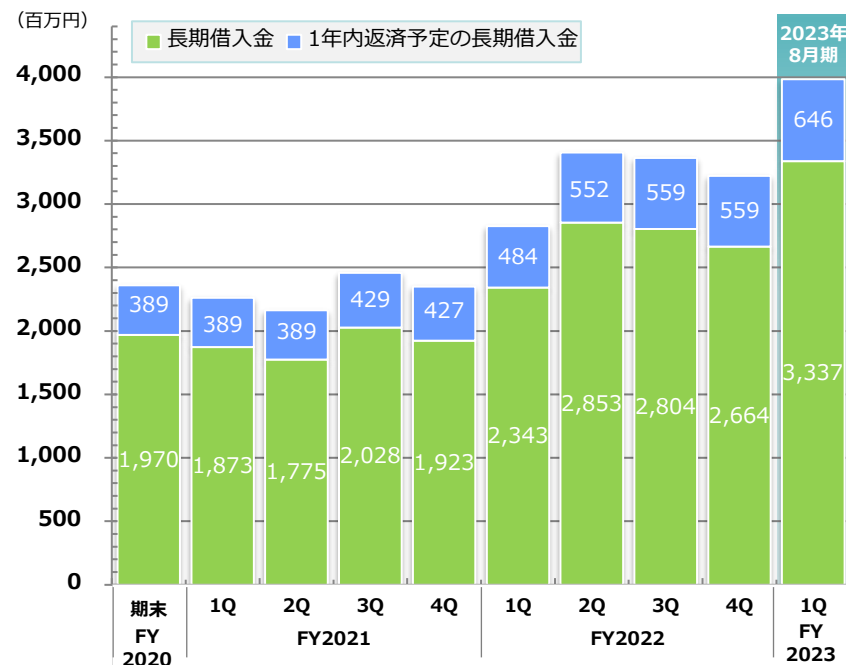
B/S

	2022年8月期 会計年度末 (百万円)	2023年8月期 第1四半期末 (百万円)
流動資産	6,591	6,450
現金及び預金	3,011	2,714
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	2,493	2,765
棚卸資産	1,062	937
固定資産	5,961	6,455
建物・土地	2,517	2,529
機械及び装置	2,971	3,375
流動負債	2,504	2,052
有利子負債(短期)※	559	646
固定負債	2,749	3,416
長期借入金	2,664	3,337
負債合計	5,253	5,468
純資産合計	7,299	7,438
総資産	12,552	12,906

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① 資産：12,906百万円(前期末比:353百万円増加)
 - ・有形固定資産：529百万円増加
 - ・売上債権：272百万円増加
- ② 負債：5,468百万円(前期末比:214百万円増加)
 - ・長期借入金：673百万円増加
 - ・未払法人税等：350百万円減少
- ③ 純資産：7,438百万円(前期末比:138百万円増加)
 - ・配当金の支払い：328百万円
 - ・四半期純利益の計上：467百万円
 - ・自己資本比率：58.1%→57.6%



2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ 23年8期は1Q好調も、2～3Qは市場減速を想定
- ◆ 装置市場は停滞も、当社への影響は当初想定より少ない
- ◆ 消耗品と新規顧客向けに注力し、受注拡大狙う

FPD分野

- ◆ OLEDはG6 G8で計画有 G10.5液晶は23年後半まで停滞
- ◆ 全般的に市場は停滞傾向
- ◆ 市場停滞の中でも新品種獲得でシェア拡大狙う

その他分野

- ◆ 太陽電池向け装置活発 受注本格化
- ◆ FPD分野の余力活用し営業活動活発化
- ◆ 一部外注化は継続しながらも内製比率改善

3. 2023年8月期の業績予想

当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

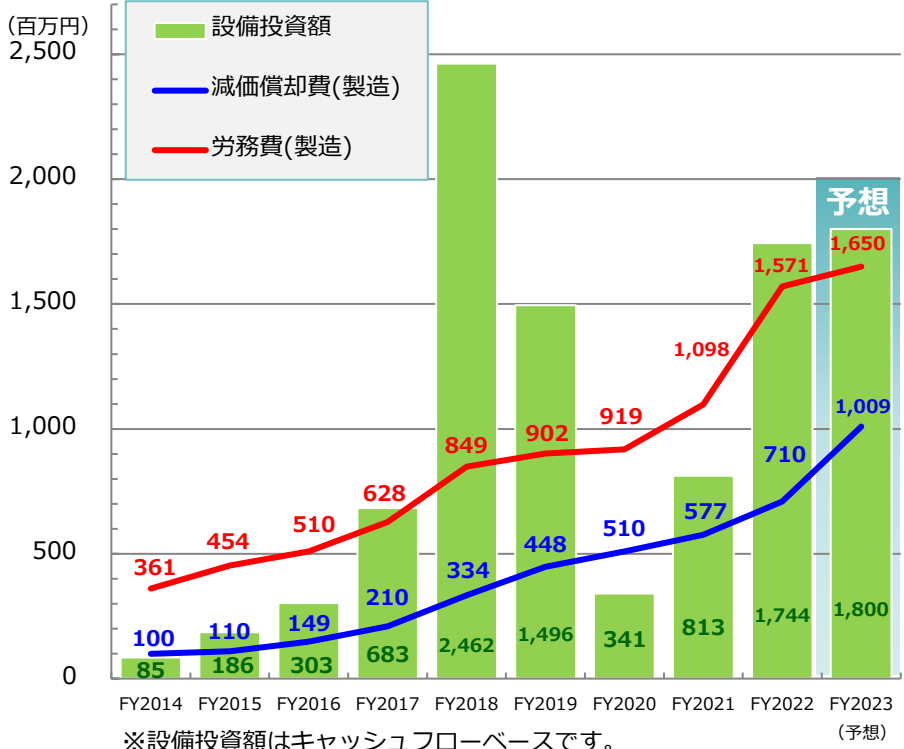
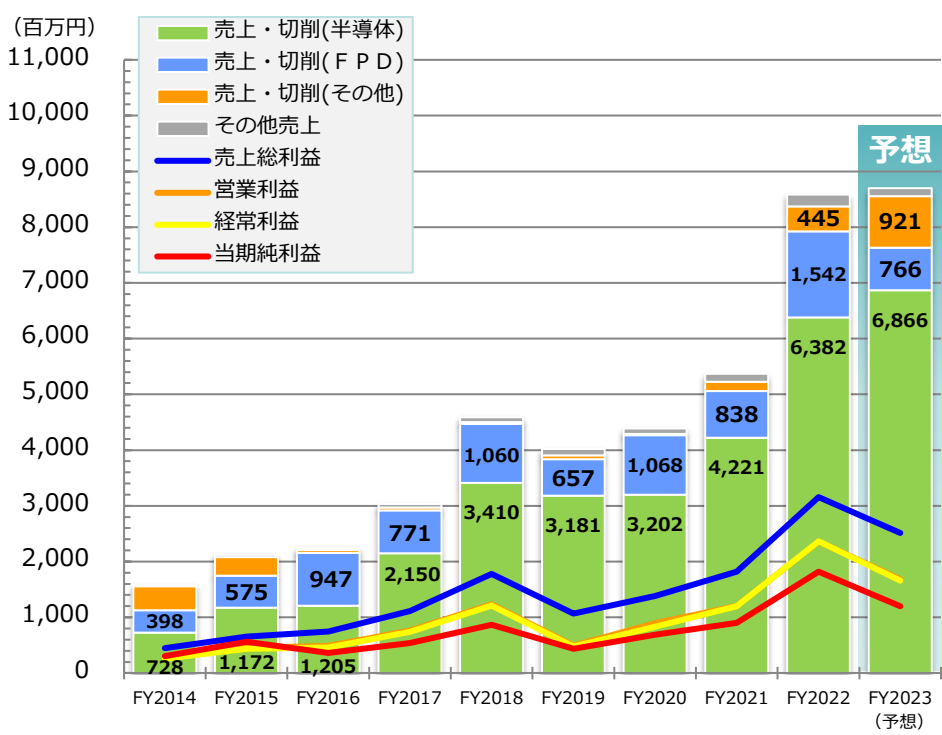
業績
予想

2023年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	4,180	780	770	556	44.03
通期	8,700	1,680	1,660	1,200	95.03

Point

- ✓ 増産投資と市場停滞で一時的な利益率低下
- ✓ 新規装置停滞も消耗品中心に売上高維持
- ✓ 増産投資は環境に合わせ柔軟に変更
- ✓ 当初想定より好調維持

当初想定よりは好調な推移も、2Q以降の状況確認までは慎重見通し



私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

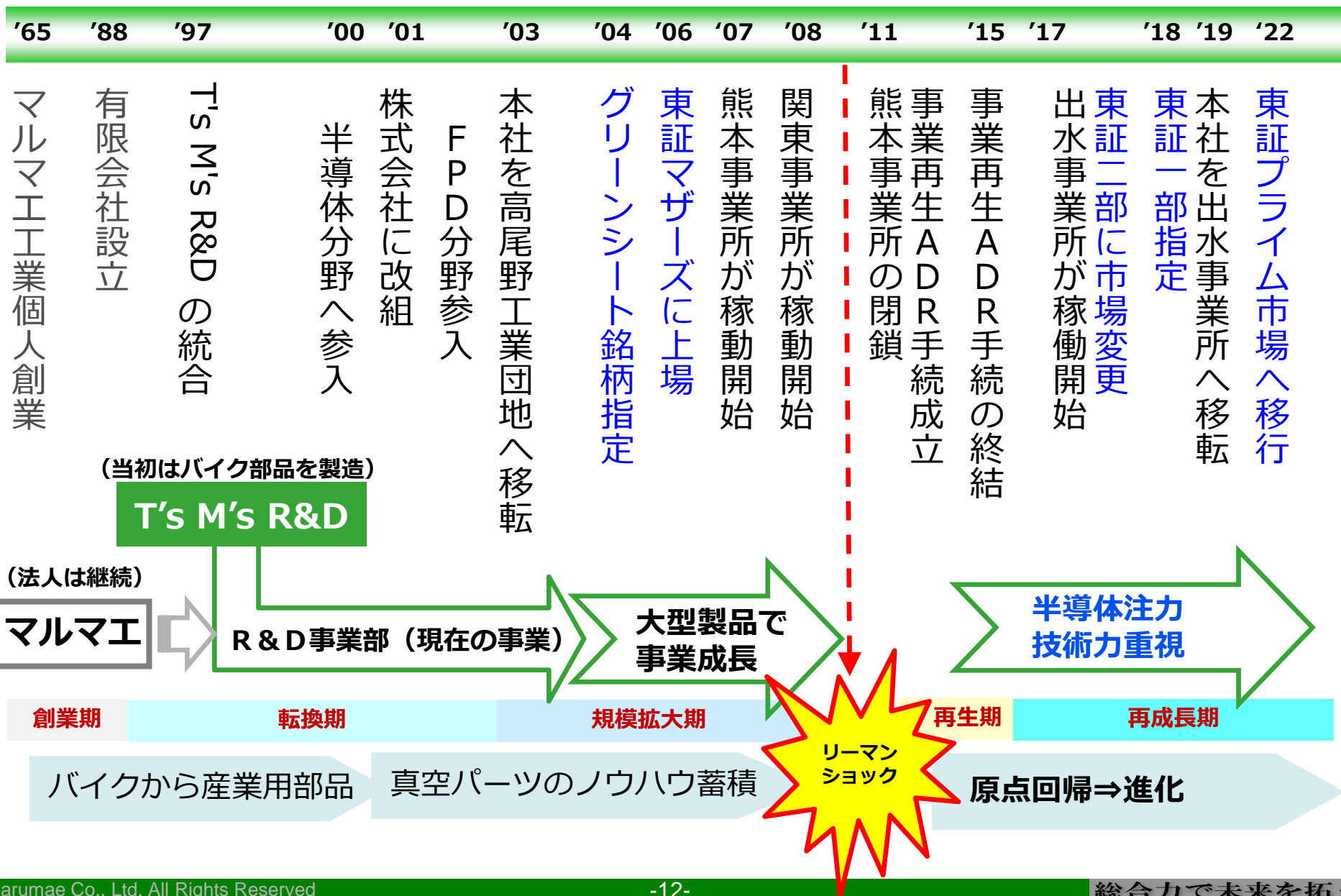
企業情報

参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

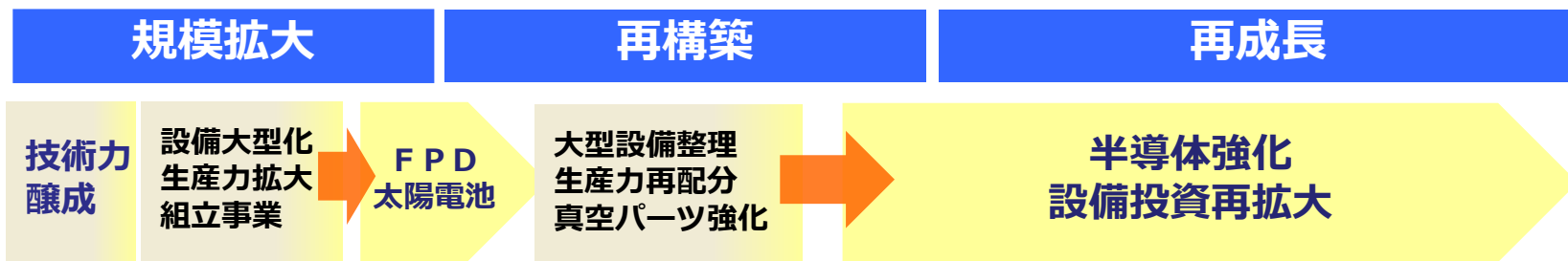
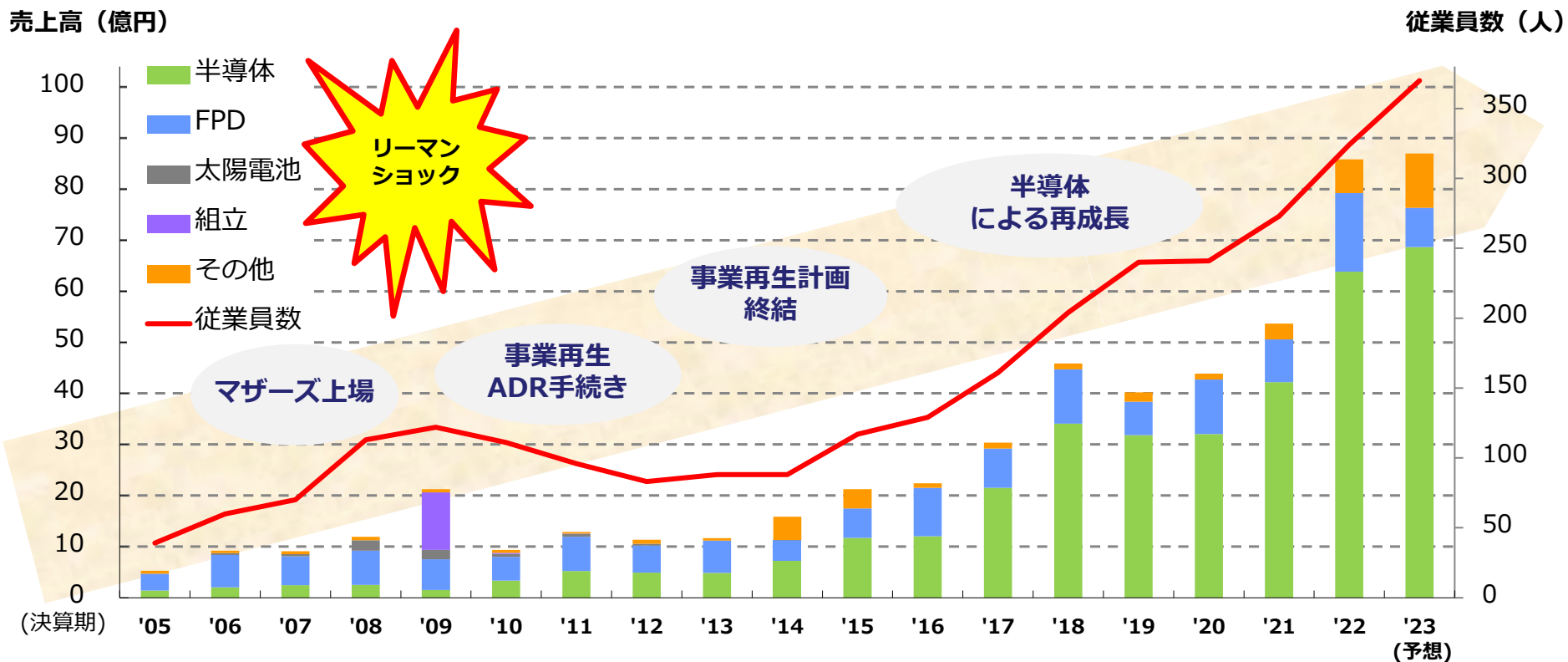


参考資料（沿革と事業変遷）



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



参考資料（現在の事業内容）

主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

主要工程（半導体）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
洗浄

（FPD）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
洗浄
イオン注入

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）	発行済株式総数	13,053,000株
設立	1988年10月	単元株式数	100株
資本金	12億4,115万円（2022年11月30日現在）	株主総数	12,777名
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役 世耕 久美子 取締役（監査等委員）宮川 博次	大株主 （普通株式）	前田 俊一 4,822,015株 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 772,500株 前田 美佐子 504,000株 川本 忠男 212,900株 前田 良子 180,000株 五十嵐 光栄 168,000株 マルマエ共栄会 124,700株 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019 120,200株 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATI ONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25 98,215株 野村証券株式会社 78,500株
従業員数	336名 うち 臨時雇用者等 159名（2022年11月30日現在） 他 派遣社員58名	（注）自己株式が426,051株あります。 （2022年8月31日現在）	
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸 		
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>		